



輝け！北っ子！

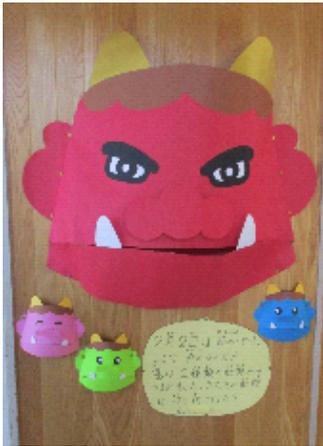
自分の中の「鬼」を追い出そう ～今日は「節分」～

今日、2月2日は「節分」です。いつもなら、3日ですが、今年は特別だとか。学校の中にも、節分に関する掲示がずいぶん見られます。学級内はもちろんのこと、児童会（集会委員会）でも工夫した掲示が見られます。

内容は「自分の中の鬼を追い出そう」というのが主になっています。「なまけ鬼」「忘れ物鬼」「ねぼろ鬼」・・・など自分を見つめなおして、こんなところを直したいというものを「鬼」に

たとえて表現しています。どうぞ、ご家庭でも子どもたちがどんな鬼を追い出したいのか聞いてあげてください。

今年は、コロナ禍であり、学校では例年のように多人数で大きな声を出して鬼を追い払ったり、福を呼び寄せたりはできません。ご家庭において、工夫しながら年中行事を楽しんでもらえたらと思います。



甲状腺検査実施 ～子どもの命を守る取り組み～

原発事故以来、子どもたちの命を守る取り組みの一つとして「甲状腺検査」が行われています。

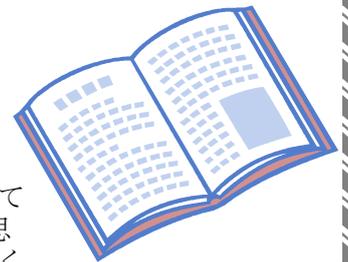
1日は、多目的室を会場に、3～6年生の児童が検査を受けました。もちろん、コロナ対応をしっかりした上で。もうすぐ東日本大震災から10年が過ぎようとしています。しかし、子どもの命は10年たったから安心というものでもありません。検査の結果は後日通知されると思いますので、確認をお願いします。



ちょっといい話 ～子どもの+αをみとる～

先日、あるお母さんとの立ち話の中から、「いいなあ」と感じたことを紹介します。お母さんから、紹介された話はこんな話でした。

子どもと病院に行った時のことです。診察を待っていると子どもは本を読み始めようとしていました。ずいぶん年齢よりやさしい本を手にとっていたので、「読みたい本がないのかな。簡単な本も楽しいし・・・」と思いましたが、特に気にすることもなく、診察を待っていました。しばらくすると、その子は同じく診察を待っていた自分より小さい子に読み聞かせを始めたというのです。その後、お母さんが「どうして読み聞かせしてあげたの？」と尋ねると「+αだから」と言ったというのです。



本は小さい子でも楽しめる本を選び、さらに読み聞かせまでしてあげて・・・。素晴らしい+αの行動です。子どもは学校生活以外でも、いろいろなことを考え、行動に移していきます。特に今までしたことのない行動は大変な勇気をしぼりだしながら。その行動を周りの大人たちが気づくかどうか、その良さを認め、価値づけしてあげられるかが次の行動を左右するように思うのです。褒められた子は、次もよい行動をしようとしていきますが、スルーされてしまえば、次の行動まではかなりの時間がかかってしまうこともあるように思うのです。子どもの+αの行動をみとるのは学校だけではありません。学校以外の場面で見せている+αの行動などあれば是非ご紹介ください。